

事務事業評価シート(概要説明書)

事業名	文化フォーラム事業(カルチャー・スクール事業)	課室名	秘書広報課	会計区分	一般会計
-----	-------------------------	-----	-------	------	------

【事業の概要】

事業期間	開始年度	22	～	終了年度	
事業(補助)対象	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(具体的な事業(補助)対象者)		
法令根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等)		
事業の執行方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		(委託先等)		
(事業背景・目的)					
泉大津市文化振興条例に基づいて策定された泉大津市文化芸術振興計画「暮らしに織りなす文化と芸術」を推進するため、一定期間集中して文化フォーラムを実施することで、まちの文化的土壌を培うことを目的とし、3年計画で実施した「カルチャー・スクール事業」については、所期の目的を一定達成した。また、もう一つの目的、市外の人に泉大津市を知ってもらう機会を提供できた。「カルチャー・スクール事業」で育んだこの文化的土壌などを、今後さらにより良い形で残していくため、「文化フォーラム事業」として継続し行っていくもの。					
(事業の内容)					
質の高い文化芸術にふれ、日々の生活をより実りのあるものにするを目的とし、著名な作家や研究者などを招き、質の高い講演会を開催するもの。今年度は、研究者などを招いて開催する「歴史の新視点」シリーズで4回、また作家などを招いて開催する「文学へのいざない」シリーズ2回の合計6回の開催。					

【事業費】

項目/年度		H22(決算額)	H23(決算額)	H24(決算見込額)	H25(予算額)	備考
事業費(千円)	事業費総額 ①	7,032	6,570	10,158	3,819	※平成24年度については、「府支出金」はシンポジウム助成金、「その他特定財源」は地域環境基金を活用した環境フォーラム実施事業より
	財源内訳(千円)					
	国庫支出金					
	府支出金			1,300		
	地方債					
	その他特定財源			1,429		
受益者負担						
一般財源	7,032	6,570	7,429	3,819		
人件費	正職員の年間延べ人数	1.0	0.3	0.2	0.2	※平成25年度から「文化フォーラム」と名称変更し実施
	嘱託・臨時職員の年間延べ人数	0.0	0.0	0.5	0.5	
	正職員年間延べ人数×単価	6,200	1,860	1,240	1,240	
	嘱託・臨時職員年間延べ人数×単価	0	0	1,120	1,120	
	人件費合計 ②	6,200	1,860	2,360	2,360	
総事業費(千円) ①+②		13,232	8,430	12,518	6,179	
平成24年度事業費内訳(単位:千円)		費目			金額	
		報償費				6,721
		旅費				16
		需用費				522
		使用料及び賃借料				1,470

【事業の必要性】

事業の必要性	泉大津市文化振興条例に基づいて策定された泉大津市文化芸術振興計画「くらしに織りなす文化と芸術」を推進し、市民等に文化的土壌を醸成するために必要である。また、さらに、泉大津市のことを知ってもらうための機会として必要である。
--------	--

【事業実績・成果】

事業実績・成果指標	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度実績値	25年度目標値
来場者数	人	4,778	2,505	4,134	1,200
実施回数	回	26	22	23	6
(成果指標を数値化できない理由)					
(具体的な事業の成果)					
まちの文化的土壌を培うことができた。また、著名な作家や研究者などを招くことで、市外・府外から多くの来場者を獲得でき、泉大津市の知名度向上につながった。					

【外部との連携・活用の可能性】

外部との連携・活用の可能性	連携・活用先、連携・活用部分、不可能な理由を具体的に
<input type="radio"/> 既に事業全体・一部で連携・活用済	南海電鉄に後援をもらっている
<input type="checkbox"/> 今後事業の全部・一部で連携・活用可能	
<input type="checkbox"/> 連携・活用不可能	

【庁内事業との統合・連携の可能性】

類似事業の有無	<input type="radio"/> 類似事業あり	→	類似事務事業名	市役所各課で開催する講演会など		
	<input type="checkbox"/> 類似事業なし		統合・連携の可能性	<input type="radio"/> 可能性あり	<input type="checkbox"/> 可能性なし	

【これまで実施した事務の見直し点】

これまでの改善点	一人でも多くの来場者を獲得するため、毎回、各文化施設などへ配布するチラシを講演の内容に応じて送付先を変更している。また、南海電鉄に後援をお願いし、駅構内にポスターを掲示するなど、集客力の向上を図った。
----------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	本市知名度向上のため、市外からの来場者の増加は歓迎だが、市内よりも市外からの来場者の割合が多く、本市市民の来場者を増やすための方策も必要。また、本事業は高齢者の生きがいづくりなどに一部貢献していると考えているが、60歳以上の来場者が多いことや男性来場者が多いことを考えると、もう少し幅広い世代や女性の集客方法を考える必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 見直し	(左記評価の理由) まちの文化的土壌を培うことを目的とした「カルチャー・スクール事業」については、所期の目的を一定達成した。また、市外の人から泉大津市を知ってもらう機会を提供できたことなど、「カルチャー・スクール事業」で推進してきたものを、今後さらにより良い形で残していくため、「文化フォーラム事業」として継続し行っていくもの。
改革・改善策等の具体的内容	平成26年度については、現在、講師・講演メニューを検討中であるが、子ども向けおもしろサイエンスショーや減塩食の大切さを題材にした講演、泉大津市にゆかりのある著名人を講師に迎えるなど、幅広い年齢層の集客に努める。	

【参考】

比較参考値(類団など他自治体での状況)	近隣各市では年間を通しての講座は行われていない。
---------------------	--------------------------